

2010年(平成22年)
7月
30(金)
第16364号

粘り強く悔いのない試合を

下松ジュニアソフトテニスクラブの6人 全日本小学生選手権に出場



前列左から藤永、浜田、藤岡、明野さん、
後列左から兼森、藤井君と井川市長

下松市の下松ジュニアソフトテニスクラブ(原田正剛会長、五十六人)の花岡小五年の藤井悠貴君、久保小五年の兼森富久斗君、花岡小六年の浜田紗帆さん、藤永りささん、藤岡夏海さん、中村小六年の明野真依さんが八月五日から八日まで北海道旭川市で開かれる第二十七回全日本小学生ソフトテニス選手権大会の出場を決め、二十九日、下松市役所で激励式が開かれた。

六人は六月五日に周南市のキリンビバレッジ周南庭球場で開かれた県予選の男子の部で藤井・兼森ペアが三位、女子の部で浜田・藤永ペアが二位、明野・藤岡ペアが三位に見事入賞して全国大会出場を決めた。全国大会ではダブルスの個人戦と都道府県対抗の団体戦に出場する。

同クラブからは三年連続の全国大会で、水本隆行監督(49)は「三ペアも出場できて大変うれい。力を出し切り悔いのないプレーをしてほしい」と話し、井川市長は「相手にのまねず、根性を持ってやるのが大事。優勝して帰ってきて下さい」と激励し、激励金を手渡した。

6人が全国大会へ

下松ジュニアソフトテニスクラブ 市長に活躍誓う

下松市の下松ジュニアソフトテニスクラブ(原田正剛会長)の3ペア6人が、全日本小学生ソフトテニス選手権大会(北海道旭川市、



8月5〜8日)に、県代表として出場する。選手たちは29日、市役所を訪れ、井川成正市長に活躍を誓った。男子の部に藤井悠貴君(11)・花岡小五年と兼森富久斗君(10)・久保小五年の2ペア、

井川成正市長(後列右)に全国大会での活躍を誓った(前列左から)藤永りささん、浜田紗帆さん、藤岡夏海さん、明野真依さん、(後列左から)兼森富久斗君、藤井悠貴君

女子の部に浜田紗帆さん(11)・花岡小六年と藤永りささん(11)・同、明野真依さん(11)・中村小六年と藤岡夏海さん(12)・花岡小六年の2ペアが出場。6月に周南市のキリンビバレッジ周南庭球場で開かれた県予選大会で、浜田・藤永ペアは2位、藤井・兼森ペアと明野・藤岡ペアはそれぞれ3位に入って全国大会への切符を手にした。

6人は「悔いのない試合をしたい」「練習の成果を発揮したい」「気持ちで相手に負けないように頑張りたい」などと決意表明。井川市長は「山口県代表として堂々と試合をしてほしい。優勝目指して頑張って」と激励した。

同クラブの水本隆行監督は「力を出し切って悔いのないプレーをしてほしい」と話していた。

明野さんは「粘り強く、悔いのない試合をしたい」▽藤岡さんは「声を出し、向かっていく気持ちで頑張りたい」▽浜田さんは「一試合でも多く勝ちたい」▽藤永さんは「どんな相手にも向かっていき、集中したい」▽藤井君は「練習でしたこと発揮したい」▽兼森君は「気持ちで負けず、どんな球にも向かっていきます」と意気込みを見せていた。

山口新聞

2010年(平成22年)7月31日 土曜日